

令和5年第2回士別市議会定例会会議録（第4号）

令和5年6月23日（金曜日）

午前10時00分開議

午前10時34分閉会

本日の会議事件

開議宣告

諸般の報告

- 日程第 1 報告第 4号 出資団体の経営状況報告について（士別市農畜産物加工株式会社）
- 日程第 2 報告第 5号 出資団体の経営状況報告について（株式会社翠月）
- 日程第 3 報告第 6号 出資団体の経営状況報告について（羊と雲の丘観光株式会社）
- 日程第 4 報告第 7号 出資団体の経営状況報告について（まちづくり士別株式会社）
- 日程第 5 議案第 69号 令和5年度士別市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第 6 意見書案第 2号 2023年度北海道最低賃金改正等に関する意見書について
意見書案第 3号 地方財政の充実・強化に関する意見書について
意見書案第 4号 消費税インボイス制度中止を求める意見書について

閉会宣告

出席議員（14名）

副議長	1番	村上 緑一 君	2番	石川 陽介 君
	3番	湊 祐介 君	4番	中山 義隆 君
	5番	加納 由美子 君	6番	奥山 かおり 君
	7番	西川 剛 君	8番	佐藤 正 君
	9番	真保 誠 君	10番	喜多 武彦 君
	11番	谷 守 君	12番	大西 陽 君
	13番	十河 剛志 君	議長	15番 山居 忠彰 君

出席説明員

市長	渡辺 英次 君	副市長	法邑 和浩 君
総務部長	大橋 雅民 君	市民部長	丸 徹也 君
健康福祉部長	東川 晃宏 君	経済部長	鴻野 弘志 君
建設環境部長	藪中 晃宏 君		

教育委員会長
教育委員

中 峰 寿 彰 君

教育委員会長
生涯学習部長

三 上 正 洋 君

市立病院
副管理院長

中 舘 佳 嗣 君

経営管理部長

池 田 亨 君

農業委員
農事局長

保 科 隆 志 君

農業委員
農事局長

林 秀 忠 君

監査委員

浅 利 知 充 君

監査委員
監査局長

四ツ辻 秀 和 君

事務局出席者

議会事務局
局長

穴 田 義 文 君

議会事務局
議総務課長

岡 崎 忠 幸 君

議会事務局
議総務課主任

中 井 聖 子 君

議会事務局
議総務課主任

齊 藤 太 成 君

(午前10時00分開議)

○議長(山居忠彰君) ただいまの出席議員は全員であります。

これより本日の会議を開きます。

○議長(山居忠彰君) ここで、事務局長から諸般の報告をいたします。

○議会事務局長(穴田義文君) 御報告申し上げます。

本日の議事日程及び諸報告については配信のとおりでありますので、朗読を省略いたします。

以上で報告を終わります。

(朗読を経ないが掲載する)

1. 市長から送付された議案は次のとおりである。

議案第69号 令和5年度士別市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

2. 議会運営委員会から送付された議案は次のとおりである。

意見書案第2号 2023年度北海道最低賃金改正等に関する意見書について

意見書案第3号 地方財政の充実・強化に関する意見書について

意見書案第4号 消費税インボイス制度中止を求める意見書について

3. 議長会の関係については次のとおりである。

(1) 全国市議会議長会第99回定期総会

イ. 開催日 令和5年6月14日

ロ. 開催地 東京都

ハ. 出席者 山居議長

ニ. 会議概要 事務報告、委員会報告の後、部会提出議案27件及び会長提出議案5件を審議し、役員改選を行い終了した。

以上報告する

令和5年6月23日

士別市議会議長 山居忠彰

○議長(山居忠彰君) それでは、これより議事に入ります。

日程第1、報告第4号 出資団体の経営状況報告についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。鴻野経済部長。

○経済部長(鴻野弘志君)(登壇) ただいま議題となりました報告第4号 出資団体の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により御報告申し上げます。

士別市農畜産物加工株式会社の第28期営業年度、経営及び決算状況についてです。

当期においても、主力商品の卵製品を中心に、地元農産物であるバレイショやキャベツなどを原料とした加工製品の製造・販売が行われてきました。

主な製品別の売上げ状況として、卵製品は33品目で1億2,235万7,000円、全製品売上げに占める割合は約55%、バレイショ製品は29品目で6,557万5,000円、約30%、キャベツ製品は8品目で2,651万2,000円、約12%となっており、このほか大豆製品や羊肉製品の販売を含むその他の売上げでは785万7,000円となりました。

これにより、売上額は、目標である2億4,250万円に対し、91.7%の2億2,230万1,000円となり、営業外収益103万7,000円を含めた収入総額は2億2,333万8,000円となったところです。

次に、費用としては、売上原価が2億5,721万4,000円、営業外費用が1万9,000円など、支出総額は2億5,743万8,000円となり、差引き3,410万円の当期純損失となりました。

このため、前期からの繰越利益剰余金マイナス4,867万円に当期純損失3,410万円を合わせた繰越利益剰余金はマイナス8,277万円となり、資本金1,100万円を加えた純資産はマイナス7,177万円となったところです。

第28期については、今般の社会情勢により、鶏卵をはじめとする材料費の値上がりや電力費などの製造経費が経営を圧迫する中、収益性の改善を図るため、昨年からの価格改定について協議を行い、令和5年2月出荷分では23品目で平均18%、同年3月出荷分では3品目で平均17.7%の価格改定を行いました。

しかし、値上げに関する注文先との価格交渉に時間を要したことに加え、依然として続く物価高騰や鳥インフルエンザによる鶏卵価格の暴騰などにより値上げの影響は限定的となり、年間を通しては目標を大きく下回る結果となりました。

次に、第29期営業年度の事業計画及び予算についてです。

今期の事業計画については、バレイショ製品や卵製品の販売価格等の見直しを検討するほか、既存製品の販売強化、新規顧客の開拓、顧客ニーズや地元農産物を使用した商品開発を進めます。

また、まちづくり士別株式会社からラムコロケの製造委託を受けるなど、地元農産物を原料とした商品の安定的な販売につなげるとともに、経営基盤の強化と経営の安定化を目指します。

次に、収支計画については、卵製品やバレイショ製品、キャベツ製品の販売などによる収入総額を2億6,410万円とし、これに要する費用として、売上製造原価などで2億6,368万円を計上することにより、第29期営業年度の経常利益を42万円と見込んでいます。

次に、今後の運営についてです。

依然として、自社のみならず協力会社においても、諸物価高騰や鶏卵などの供給不安による業績への影響が続いています。

このような状況にあるものの、施設の設置目的である農業振興への貢献とともに、士別市農畜産物加工株式会社で勤務する従業員の雇用確保や地元での原料調達など、本市にもたらす経済効果は極めて重要と捉えているところです。

一方、マイナスとなった繰越利益剰余金は、本市の短期貸付金8,650万円に迫る中、経営の

健全化に向けては、効率的な経営体制や経営基盤の強化の推進について抜本的な見直しが行えるよう、代表権の変更について協力会社であるすぐる食品株式会社と具体的な協議を進めてまいります。

以上申し上げ、士別市農畜産物加工株式会社の経営状況の報告といたします。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御発言がなければ、以上で報告を終わることに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、報告第4号は報告を終わることにいたします。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第2、報告第5号 出資団体の経営状況報告についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。鴻野部長。

○経済部長（鴻野弘志君）（登壇） ただいま議題となりました報告第5号 出資団体の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により御報告申し上げます。

株式会社翠月の第26期営業年度、経営及び決算の状況についてです。

当期においても、年間を通じ新型コロナウイルスの影響を色濃く受けた営業となりました。

加えて、エネルギー関連や食材費などの価格高騰が経営を圧迫する事態が続いていたところでしたが、可能な限りの経費節減と宴会部門の回復基調を受け、前年度実績を上回ることができました。

まず、スポーツ合宿センターの各部門の状況についてですが、宿泊部門において、合宿者の受入れはほぼ例年どおりの入り込みとなったほか、自動車試験関係については、一部タイヤメーカーの宿泊や光ファイバー工事の関係者などにより宿泊者が増加したものの、全体的にはコロナ禍前の水準には戻らない状況となりました。

次に、宴会部門においては、会食自粛の影響があったものの、法要等を中心に前年度実績を大きく上回りました。

入浴部門や食堂部門においても、徐々にコロナ禍が沈静化する中、客足が戻り、前年度を上回る実績となりました。

仕出しでは、宅配弁当をはじめとする弁当関係の販売を継続して行いましたが、売上げは前年度を下回りました。

次に、朝日地域交流センターと朝日農業者トレーニングセンターにおいては、コロナ禍の影響はあったものの、効率的な運営と利用拡大に向けて、両施設の連携による利用促進を図った結果、利用者、売上げともに前年度を上回る結果となりました。

しかし、当初想定していなかった人件費等が発生したことから大きな損失を計上しました。

これら各部門を合わせた売上総額は1億5,162万9,000円となり、このほか、事業継続応援金等を含んだ営業外収入734万6,000円、3施設の指定管理料収入として7,440万5,000円を加えた第26期営業年度における収入総額は2億3,338万円となったところです。

続いて、これに要した費用についてであります。売上原価が3,620万1,000円、販売費及び一般管理費で1億9,277万9,000円など、支出総額は2億3,539万2,000円となり、差引き201万2,000円の当期純損失となったところです。

なお、本市の出資金1,000万円については、本事業資金として適正に管理されています。

次に、第27期営業年度の事業計画及び予算についてです。

事業計画として、スポーツ合宿センターでは、実業団の合宿や寒冷地試験関係者の宿泊確保に関係機関とも連携する中で引き続き取組を進めます。

また、法要など家庭行事や家族単位での旅行に照準を当てた宿泊確保のほか、閑散期における宿泊プランをインターネットを通じ広く周知することで宿泊客の増加を目指すとともに、利用客に親しまれる施設運営に努め、利用の拡大を図ります。

さらに、日帰り入浴については、継続実施する翠月の日などのサービスデーの充実や、定期的な入浴回数券の販売促進、さらには、より快適な入浴空間の維持に努め、入館者の拡大を目指します。

また、サフォーク料理など、従前から取り組んでいる地元食材を活用した魅力あるメニューや季節の食材を生かした料理の提供のほか、自宅での食事を想定した宅配弁当や食事セットの充実を図りながら、御家庭で翠月の味を楽しむことができる独自企画を積極的に推進します。

次に、朝日地域交流センターについては、合宿者や各スポーツ大会関係者などの確保に努めるとともに、利用拡大を図ります。

また、入浴客については、回数券のセット販売などを継続しながら、イベントの開催や旬の食材を使用した食事の提供、さらには、少人数の宴会や仕出しを行うなど、利用者の増加に向けた取組に努めます。

朝日農業者トレーニングセンターについては、地域における身近なスポーツ活動の拠点として、地域交流センターとの一体的な管理運営の下、効率的な運営に努めます。

予算について、まず、収入では、スポーツ合宿センターの利用者を前年度と同様の10万人と見込み、売上額、指定管理料などを含め1億7,145万9,000円を計上し、朝日地域交流センター、朝日農業者トレーニングセンターは、4万7,000人の利用を見込み、売上額、指定管理料などを含め8,290万8,000円を計上し、3施設の総収入額は2億5,436万7,000円を見込んでいるところです。

これに要する費用としては、3施設の売上原価、販売費及び一般管理費を合わせ2億5,436万7,000円を計上し、収支の均衡を図っているところです。

以上申し上げ、株式会社翠月の経営状況報告といたします。 (降壇)

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。石川陽介議員。

○2番（石川陽介君） 市から指定管理料を受け経営されている第三セクターの一つでもあります株式会社翠月。コロナ禍の影響はあるにせよ、4年連続の営業損益の部分で言えば、言わば赤字となっておりますが、こちらの主な要因は何でしょうか。また、事業計画を拝見しておりますが、黒字化を目指すための収益アップ策は具体的に考えられていますでしょうか。

以上2点お聞かせください。

○議長（山居忠彰君） 坂本商工労働観光課長。

○商工労働観光課長（坂本英樹君） お答えいたします。

まず、今期の決算が当期純損益となった要因としてお答えいたします。

先ほど、経済部長のほうからの報告でも触れておりましたけれども、令和4年度売上げは増加しております。しかし、当初想定していなかった人件費の発生により当期純損失となったと、こちらが主な要因と考えているところでございます。

次に、収益のアップの対策についてです。

こちら先ほど経済部長の報告でも触れさせていただきましたけれども、収益力アップの取組としては、閑散期における宿泊プランをインターネットを通じ広く周知していくことに加えまして、フェイスブック、ホームページを活用した情報発信、また、コロナ禍前に実施していたイベントの開催、さらには、毎月の新メニューの料理の提供をする計画をされているということでお伺いしています。

以上です。

○議長（山居忠彰君） ほかに御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御発言がなければ、以上で報告を終わることに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、報告第5号は報告を終わることにいたします。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第3、報告第6号 出資団体の経営状況報告についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。鴻野部長。

○経済部長（鴻野弘志君）（登壇） ただいま議題となりました報告第6号 出資団体の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により御報告申し上げます。

羊と雲の丘観光株式会社の第32期営業年度、経営及び決算の状況についてです。

当期も指定管理者としての業務を担う中で、特に羊に特化した様々なPRによる集客を図り、営業利益の確保を目指した経営を進めました。

また、新型コロナウイルスの影響や物価高騰による仕入価格、飼料代の高騰など厳しい状況となりましたが、経常利益を確保することができました。

初めに、各部門の状況についてです。

まず、羊飼いの家においては、ホームページを活用したインターネット販売やSNSなどの活用のほか、積極的な情報発信に努めました。

また、ゴールデンウィーク、シルバーウィークでのイベント開催や、道の駅と連携し、ジンギスカンや天サイダー等の販売も行い、売上は昨年を上回ったところです。

世界のめん羊館においては、コロナ禍による影響もありましたが、入館者数は昨年より増加し、羊肉販売においても昨年実績を上回りました。

このような状況の中、事業実績としての売上額は、羊飼いの家レストランでは2,029万6,000円、バーベキューハウスは1,794万円、世界のめん羊館は2,014万6,000円、売店売上げなども含め総額は6,434万6,000円の実績額となり、計画額を上回りました。

これに施設の指定管理料収入等の4,808万6,000円と事業継続応援金を含んだ営業外収入など450万4,000円を含め、第32期営業年度における収入総額は1億1,693万6,000円となったところです。

これに要した費用であります。売上原価が2,629万1,000円、販売費及び一般管理費で8,556万2,000円など、支出総額1億1,323万2,000円となり、差引き370万4,000円の当期純利益となりました。

なお、本市の出資金2,500万円については、本事業資金として適正に管理されています。

次に、第33期営業年度の事業計画及び予算についてです。

今年度においては、海外からの観光客入国の解禁や全国旅行支援により旅行客が戻りつつある状況ではあるものの、原油価格や資材、飼料も高騰しており、営業利益を生み出すには厳しい1年になることが予想されます。

しかしながら、本市観光の拠点施設としての重要性を踏まえ、健全な運営に努めるとともに、おもてなしの心や彩りのある環境整備を基本としながら、景観、食、体験の魅力を生かした集客拡大を目指します。

加えて、道内外から訪れる旅行者をはじめ、市民にも喜ばれ親しまれる施設運営に努めます。

こうした中で、羊飼いの家レストラン部門では、土別産羊肉を活用した魅力あるメニューの提供を行うほか、売店では、味に対して評価の高い特製ジンギスカンや天サイダーの販売、さらには土別サフォークの羊皮を使用した商品などの積極的な販売に努めていきます。

また、羊と雲の丘のめん羊牧場の壮大なロケーションをトップページとしたホームページを活用し、インターネット販売やSNSなどで情報発信を行い、羊と雲の丘のプロモーション活動を実施します。

さらには、クリスマスパーティーの開催や道の駅と連携した取組により、多くの市民に親しまれる施設を目指します。

世界のめん羊館部門では、シーブドッグショーや毛刈りショーの実演などの体験型観光を実施するとともに、めん羊工芸館くるるんと連携を図りながら、集客拡大を図ります。

次に、予算についてです。

収入については、羊飼いの家、世界のめん羊館の利用者総数を3万人と見込み、収入総額では、これら各施設の売上額と指定管理料収入などを含め1億1,425万2,000円を計上しました。

これに要する費用については、売上原価、販売費及び一般管理費を合わせ1億1,375万円を計上し、当期利益50万2,000円を見込んでいます。

以上申し上げ、羊と雲の丘観光株式会社の経営状況報告といたします。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御発言がなければ、以上で報告を終わることに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、報告第6号は報告を終わることにいたします。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第4、報告第7号 出資団体の経営状況報告についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。鴻野部長。

○経済部長（鴻野弘志君）（登壇） ただいま議題となりました報告第7号 出資団体の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により御報告申し上げます。

まちづくり士別株式会社の第5期営業年度、経営及び決算の状況についてです。

まちなか交流プラザ道の駅羊のまち 侍・しべつは、オープンから2年目を迎え、コロナ禍での厳しい経営環境の中、市や観光協会などから業務を受託するなど収益事業を進め、各事業を展開してきたところです。

初めに、受託業務の状況についてです。

ふるさと納税収納等業務、観光振興業務を士別市から受託し、このほか、観光協会業務委託、サフォークスタンプ協同組合業務委託、中心商店街振興組合業務を引き続き受託しました。

また、令和3年度から受託した移住ナビデスク業務は、相談業務や士別市空き家バンクの情報提供を行い、63件の移住相談を受けたところです。

今後においても、まちなか交流プラザとしての役割と、まちづくり士別株式会社の企業理念に沿った業務を進めてまいります。

次に、事業収入についてです。

アンテナショップでは、新たな事業者の参入もある中、162事業所、1,331商品を販売しました。

商品の内訳では、地元の特産品が全体の7割ほどを占めており、ほかの道の駅と比べると割合が高いことから、情報発信拠点として販売戦略に特徴を持たせてきたところです。

また、本市のみならず、友好都市のみよし市や愛媛県、和寒、剣淵、幌加内の1市3町連携による特産品も販売し、広くPRしてきました。

さらに、来場者を増やす取組として、チャレンジショップを活用するほか、スポットイベント企画を開催するなど、来場者数の増加に努めてきました。

商店街等連携イベントによるまちなかにぎわいづくりでは、中心商店街振興組合やサフォークスタンプ協同組合と連携し、まちなかにぎわい広場やポイント2倍セール、咲夢来マラソン、しべつ全市連合大売り出しに参加をするほか、商店街周遊を促すマップを作成しました。

また、中心商店街の回遊につなげていくため、アンテナショップに中心商店街振興組合のコーナーを設け、各店の商品を販売することで店舗PRの強化と個店への誘導策とした取組を行いました。

羊のまち士別サフォークラムブランディング応援金事業については、収益増を見込んだ販売戦略と連動して、ふるさと納税寄附額の増額を目指すため、士別産ラム肉を使用したジンギスカンやラムスライスを製品化し、ふるさと納税の返礼品として掲載してきたところです。

テイクアウト商品については、昨年製品化したラム肉を使用したキーマカレーのおやきやラムコロケの販売、さらにはオンラインショップでの販売促進に努めました。

これらの結果、まちづくり士別株式会社の営業実績は、受託業務収入として4,543万1,000円、事業収入として9,143万7,000円、これらを合わせた売上総額は1億3,686万8,000円となり、このほか士別市補助金収入等929万1,000円を加えた第5期営業年度における収入総額は1億4,615万9,000円となったところです。

これに要した費用については、売上原価が9,071万8,000円、販売費及び一般管理費で5,760万6,000円など、支出総額は1億4,845万3,000円となり、差引き229万4,000円が当期純損失となりました。

本市の出資金600万円については、本事業資金として適正に管理されています。

次に、第6期営業年度の事業計画及び予算についてです。

まちなか交流プラザとしての中心商店街の活性化やまちなかにぎわい創出という施設機能の優位性を発揮し、道の駅のさらなる集客向上に努めてまいります。

事業計画として、ふるさと納税収納等業務においては、事業者との連携を密にし、さらには寄附区分の細分化や、多くの商品を提供できるよう、返礼品の登録数の変更など、寄附金額のさらなる増加を目指します。

また、ほかの委託業務につきましても、その委託目的及び業務内容に沿った運用を関係機関と連携を図りながら進めていくほか、特産品販売などの運営事業においても、既存商品のブラッシュアップや新たな商品ラインアップの構成を行い、販売強化促進による集客に努めます。

商店街振興に向けた消費拡大の取組については、商店街などとの連携によるイベントの開催

や消費創出事業の実施のほか、まちなかを回遊できるような仕組みづくりを進めてまいります。

予算であります。収入については、アンテナショップ販売や通信販売など道の駅に係る売上額のほか、市補助金やふるさと納税返礼品発送業務などの受託業務を含め1億2,978万7,000円を見込んでいます。

これに要する費用については、一般管理費及び受託事業費等として1億2,927万8,000円を計上し、当期純利益50万9,000円を見込んでいます。

以上申し上げ、まちづくり士別株式会社の経営状況報告といたします。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。石川陽介議員。

○2番（石川陽介君） 先ほどと同じ質問になるんですけども、まちづくり士別株式会社も連続の営業損失をされていて、道の駅開業から丸2年というところではあるんですけども、営業損益の部分で言えば赤字となっております。こちらも主な要因と、そして、こちらの営業損益の部分で黒字化を目指すための具体的な収益アップ策を教えてくださいませんか。

○議長（山居忠彰君） 坂本課長。

○商工労働観光課長（坂本英樹君） お答えいたします。

まず、損益になった理由についてです。

令和4年度の売上げは実際増えました。また、一昨年よりも純損失が減った状況になっております。しかし、人員が減りまして、イベントなどの事業外収入が減ったことが主な要因ということで伺っているところでございます。

次に、収益アップの対策についてです。

こちらも、先ほど経済部長のほうからの報告でも触れさせていただきましたけれども、ふるさと納税の増額による収益アップ、また、オンラインショップによる販売促進、さらには商品ラインアップの充実による売上げの増、こちらの取組を進めていくということでお伺いしています。ほかにも、定期的なイベントの開催、アンテナショップの魅力ある商品の提供を行いながら収益のアップを図っていくことが計画されているところでございます。

以上です。

○議長（山居忠彰君） 石川議員。

○2番（石川陽介君） 今回はこれで質問は終わりますが、引き続き各社の動向を注視させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○議長（山居忠彰君） ほかに御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御発言がなければ、以上で報告を終わることに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、報告第7号は報告を終わることにいたします。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第5、議案第69号 令和5年度士別市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）を議題に供します。

提案者の説明を求めます。法邑副市長。

○副市長（法邑和浩君）（登壇） ただいま議題となりました議案第69号 令和5年度士別市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について、その概要を御説明申し上げます。

本補正は、令和4年度の保険給付費等の確定により、給付費に充てるべき介護保険料に余剰が生じたため、介護給付費準備基金積立金として2,278万3,000円を追加計上したほか、年金から特別徴収を行った介護保険料の還付未済金として16万5,000円を追加計上しました。

さらに、超過交付となった介護給付費に関する国・道負担金などの返還金3,930万1,000円を追加計上しました。

なお、これらに要する財源については、国・道支出金及び繰越金等の特定財源をもって収支の均衡を図った次第です。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第69号は、原案のとおり可決されました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第6、意見書案第2号 2023年度北海道最低賃金改正等に関する意見書について、意見書案第3号 地方財政の充実・強化に関する意見書について及び意見書案第4号 消費税インボイス制度中止を求める意見書について、以上3案件を一括議題に供します。

本案については、提案者の説明を省略いたします。

質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、意見書案第2号から意見書案第4号までの3案件は、原案のとおり可決されました。

○議長（山居忠彰君） 以上で本定例会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。
令和5年第2回定例会はこれをもって閉会いたします。
御苦労さまでした。

（午前10時34分閉会）

以上、本会議のてん末を記載し、その相違なきことを証するため、ここに署名する。

令和5年6月23日

士別市議会議長 山 居 忠 彰

士別市議会副議長 村 上 緑 一

署 名 議 員 湊 祐 介

〃 中 山 義 隆

〃 加 納 由 美 子